

## 自己評価（前年度）

※「幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価」のチェック項目を用いて自己評価しています

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価			
データ 分析 表	データ表		データグラフ
	内容	項目数	
	「乳児保育」	15	
	「3歳未満児保育」	32	
	「3歳以上児保育」	53	
	「教育保育の配慮事項」	16	
	「健康・安全」	29	
	「子育ての支援」	18	
	「職員の資質向上」	3	
	計	166	
平均		4.66	
総合 評価	<p>日々の保育の振り返りや、会議を通して職員間の思いの共有ができたことで、各プロジェクトの関係性の深まりや、展開が見られた。また、保育を語る場が増えたことで職員の保育や環境に対する意識も高まったように感じる。</p> <p>地域においては誰でも通園制度の施行、子育て応援事業の盛況など、地域の子育て支援が一步、進んだように思う。</p> <p>今後も職員のチーム力の発揮、地域との連携を図りながら、保育の質の向上・地域貢献に努めていきたい。</p>		

## 事業計画（今年度の重点目標）

項目	内容
意欲ある職場環境	担当部署会議や個別面談を通し、職員の主体性も尊重した保育の展開ができるように、計画や内容、振り返り等の語り合いを十分に行っていく（12回/年）
災害対策	会議・法人内研修時に、マニュアル・BCPの職員周知をし、計画に基づいた想定訓練の実施をする（2回/年）
保育・介護・障害福祉サービス内容の研究と実践	継続性のある共同カリキュラム作成に向け、共に検討・協議をする場を持つ（年2回）